

愛知県における 地域日本語教育体制整備事業一覧

2021年度実施内容 / 2022年度実施計画

愛知県多文化共生推進室
(あいち地域日本語教育推進センター)



1. 2021年度実施内容	・ ・ ・ P 3
2. 2022年度実施計画	・ ・ ・ P26

1. 2021年度事業内容

0 実施体制

- ① 愛知県地域日本語教育の推進に関する基本的な方針策定 P 4
- ② あいち地域日本語教育推進センターの運営 . . . P 5
- ③ 総括コーディネーターの配置 . . . P 5
- ④ あいち地域日本語教育コーディネーターの配置 . . . P 5
- ⑤ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催 . . . P 6

I リソース開発・モデル事業

- ⑥ 地域における初期日本語教育モデル事業 . . . P 7

II 取組の普及

- ⑦ 地域における初期日本語教育モデル事業 . . . P 7
- ⑧ 多文化子育てサロン設置促進事業 . . . P 9

III 財政支援

- ⑨ 愛知県地域日本語教育推進補助金 . . . P11

IV-1 課題解決・人材育成支援

- ⑩ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業 . . . P18
 - ・あいち地域日本語教育コーディネーター意見交換会
 - ・あいち地域日本語教育推進事業担当者会議

V 連携・協働

- ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催 . . . P20
- ⑫ 地域日本語教育研修会 . . . P21

VI その他

- ⑬ 各種調査等 . . . P22
- ⑭ 多文化共生日本語スピーチコンテスト . . . P23

IV-2 課題解決・人材育成支援

- ⑮ 日本語指導員育成事業 . . . P24
- ⑯ 外国人児童生徒指導関係者スキルアップ研修事業 . . . P24

① 愛知県地域日本語教育の推進に関する基本的な方針策定

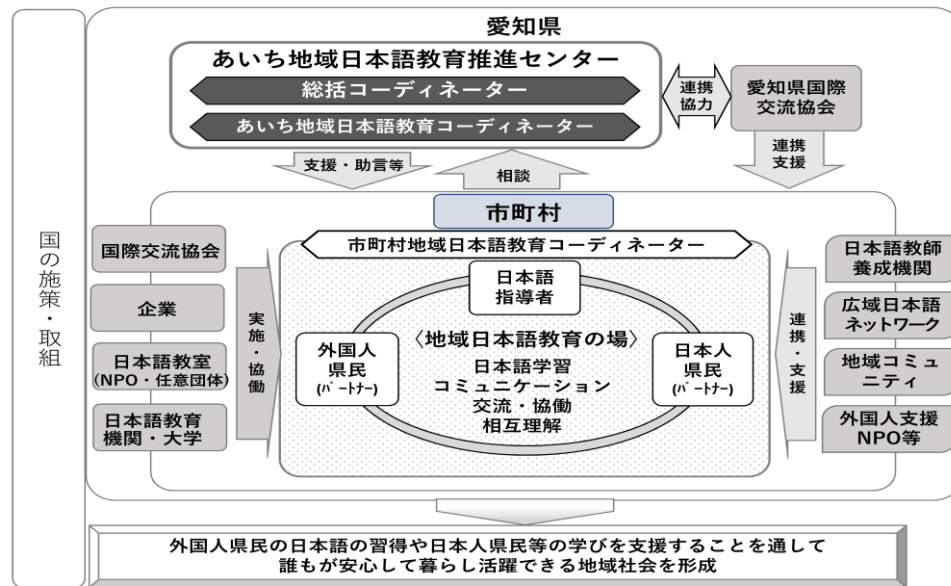
(2,422千円)

日本語教育推進法に基づき、2020年6月に国が策定した基本方針を参酌し、新たに同法に基づく本県の基本的な方針として、地域日本語教育の推進に関する基本的な方針を策定する。

○ 概要

- ・ 実態把握調査（アンケート調査：250件、外国人ニーズ調査：350人） 1,703千円
- ・ 検討会議の開催（年5回） 719千円

<愛知県における地域日本語教育推進のイメージ図>



概要

- ・ **市町村が地域日本語教育の実施主体**であることを明記。
- ・ 「**あいち地域日本語教育推進センター**」の運営等推進体制を明記。

「愛知県地域日本語教育の推進に関する基本的な方針」（2022年3月予定）より

① あいち地域日本語教育推進センターの運営

- 目的 地域日本語教育関係者との連携を図り、愛知県内の地域日本語教育の支援等を行うことにより、地域日本語教育の体制づくりを行うこと。（愛知県多文化共生推進室内に設置）
- 構成 6名（センター長：愛知県多文化共生推進室長、副センター長：同室室長補佐2名、
総括コーディネーター：1名 事務担当者：2名）
- 主な業務 地域日本語教育に関する支援、関係者の連携に関する相談・支援、人材育成に関する支援等



〈開設式〉2020年4月3日

② 総括コーディネーターの配置

(4,902千円)

- 概要 地域日本語教育の専門的な知識に基づき、県やあいち地域日本語教育コーディネーターに対する指導・助言、関係者の調整、広報活動等を行う。
- 配置人数 1名（千葉 月香 氏）
- 任用 2021年4月1日付で任用。任用期間は、2022年3月31日まで。（2020年度から継続）
公募手続を経て、地方公務員法第22条の3に規定される「臨時的任用職員」として、県が直接任用。
- 主な業務
あいち地域日本語教育推進センターが実施する事業の企画・立案、関係者との調整、事業遂行に伴う課題整理、現状分析等。市町村担当者や、日本語教育関係者からの相談・問合せ等に対して助言。
 - ・ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業に係る業務
 - ・ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催に係る業務
 - ・ 地域における初期日本語教育モデル事業に係る業務
 - ・ 地域日本語教育研修会の開催に係る業務

③ あいち地域日本語教育コーディネーターの配置

○ 概要

- ・ 総括コーディネーターとともに、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、県内の地域日本語教育関係者への情報提供・助言を行う。
- ・ 学識者、NPO法人代表、国際交流協会職員等、高い専門性や長年の活動実績を持つものの中から、県から委嘱。
- ・ 委嘱人数 10名

[2021年度あいち地域日本語教育コーディネーター一覧]

	氏名	所属・職名		氏名	所属・職名		氏名	所属・職名
1	伊東 浄江	NPO法人トルシーダ・代表	5	得永 美穂	(公財)豊田市国際交流協会	8	松本 一子	名古屋柳城女子大学・准教授
2	河村 八千子	NPO法人フロンティアとよはし・理事長	6	長尾 晴香	Vivaおかざき！！・代表理事	9	松本 里美	NPO法人シェイクハンズ・代表理事
3	酒井 美賀	東海日本語ネットワーク・代表	7	林 明子	(公財)豊川市国際交流協会	10	米勢 治子	東海日本語ネットワーク・副代表
4	鈴木 勝代	ことばの会・代表						

④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催

(222千円)

- 設置目的 あいち地域日本語教育推進センターの運営方針及び事業内容の検討等
- 開催回数 事前協議部会 年1回、あいち外国人の日本語教育推進会議 年1回
- 協議事項 (1) あいち地域日本語教育推進センターが行う事業に関すること。
(2) その他、地域日本語教育の体制づくりに必要な事項に関すること。
- 構成員 17名 (学識者、民間日本語教育機関、中間支援団体、日本語教室、企業関係、教育関係、市町村、市町村国際交流協会等)

⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

(1,509千円)

○ 目的

専門機関の協力を得て、地域の日本語教室等と連携し、日本語がまったく分からないか、ほとんど分からない外国人県民を対象とした初期日本語教室をモデル的に開催するとともに、初期日本語教育の指導者を養成する。

(2018年度から実施)

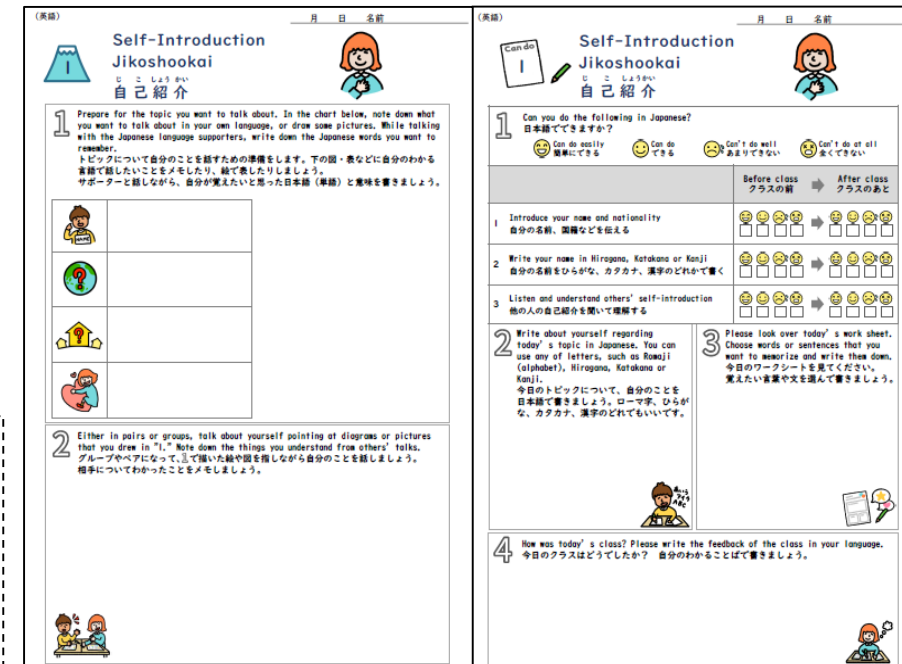
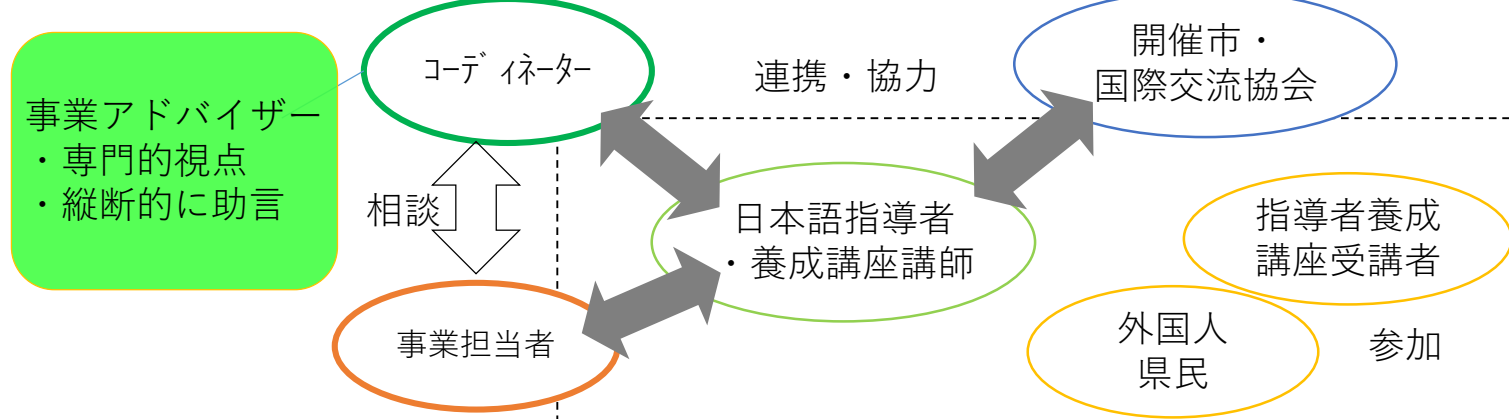
○ 実施体制

- ・運営委員会：日本語教育の有識者等で構成。事業内容、実施方法等の検討、実施状況の確認・改善、事業評価等を実施
- ・コーディネーター：事業全体のコーディネートを行うため配置（1名）

○ 概要

- (1) 地域における初期日本語教室のモデル開催
- (2-1) 「地域における初期日本語教育」のための指導者養成講座の実施
- (2-2) フォローアップ講座の実施

[教室実施のイメージ図]



[2019年度作成教材「はじめての日本語」]

⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

(1,509千円)

■実施場所：岩倉市（4年目のモデル実施となる。2020年度中に開催市を募集の上で選定。）

(1)初期日本語教室

- ・実施期間：第1期：2021年9月5日（日）～2021年10月24日（日）
第2期：2021年12月5日（日）～2022年1月30日（日） 毎週日曜日 13:30～16:30 各期8回ずつ
- ・参加者：第1期 **15名（ブラジル、ペルー、フィリピン等）**、第2期 **27名（ブラジル、ペルー、フィリピン等）**
- ・会場：岩倉市生涯学習センター又は岩倉市市民プラザ

(2-1)指導者養成講座

- ・実施期間：2021年8月29日（日）～2022年2月6日（日） **全10回（計30時間）**
- ・参加者：**25名（うち21名に修了証を交付）**
- ・会場：岩倉市生涯学習センター又は岩倉市市民プラザ

(2-2)指導者養成フォローアップ講座

- ▶一宮市（2018年度開催市）実施日：2021年10月16日（土）13:30～16:30
参加者：**6名** 場所：一宮市向山公民館
- ▶刈谷市（2019年度開催市）実施日：2021年11月6日（土）13:30～16:30
参加者：**5名** 場所：刈谷市国際プラザ
- ▶蒲郡市（2020年度開催市）実施日：2021年10月30日（土）13:30～16:30
参加者：**10名** 場所：蒲郡市生きがいセンター
- ▶オンライン（全年度対象）実施日：2022年2月6日（日）13:00～14:30
※指導者養成講座と合同開催 参加者：**14名** 場所：Cisco Webex Meetings

II 取組の普及

⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業

(2,944千円)

○ 目的

外国人親子と日本人親子が交流を楽しむ活動を通じて、子育て世代の外国人保護者に対して、乳幼児期の言語習得に大切なポイントや日本における育児に関する情報を提供し、日本語能力の育成と子育ての不安解消を図る「多文化子育てサロン」の市町村における設置及び普及を推進する。(2018年度から実施)

○ 概要

(1) 「多文化子育てサロン」の実施

- ・対象者 : 外国人親子及び日本人親子10組以上
- ・実施場所 : 県内3か所(豊田市、半田市、大府市) 各6回以上開催)

(2) 普及啓発事業(説明会の開催)

- ・対象者 : 市町村職員、市町村国際交流協会職員、保育士、保健師など50名程度
- ・実施回数 : 計2回(オンラインで開催)

【参考】

○ 過去の実施状況(直近2年間のみ掲載)

(1) 2020年度

① 多文化子育てサロン(オンライン開催)

- ・開催地 : 豊田市(受託団体:NPO法人希望の光)
- ・開催回数 : 計7回
- ・参加人数 : 79組 136名

② 普及説明会

- ・計2回 オンライン開催。計97名参加。

(2) 2019年度

① 多文化子育てサロン

- ・開催地 : 豊橋市、犬山市、知立市
- ・開催回数 : 計24回
- ・参加人数 : 189組 476名

② 普及説明会

- ・名古屋市、豊橋市、岡崎市で開催。計85名参加。

II 取組の普及

⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業

(2,944千円)

(1) 「多文化子育てサロン」の実施

	場所	開催回数	参加者/内容
1	豊田市 (受託団体：ぶんぱっぱ)	8回	85組 (外国人親子40組・日本人親子45組) ・消防署へ行こう！ ・こども園の先生と遊ぼう！ 等
2	半田市 (受託団体：社会福祉法人太陽)	7回	65組 (外国人親子20組・日本人親子45組) ・親子でバランスボールを楽しもう ・お月見音楽会 等
3	大府市 (大府市国際交流協会)	7回	67組 (外国人親子35組・日本人親子32組) ・ベトナムの子育て&親子遊び ・親子ヨガ&読み聞かせ 等

[多文化子育てサロンの様子]



(2) 普及啓発事業 (説明会の開催) ※オンラインで実施

- ・【第1回】日時：2021年12月15日(水) 14:00～16:10
講師：鈴木 崇夫氏 (愛知淑徳大学 初年次教育部門 助教)
- ・【第2回】日時：2021年12月16日(木) 14:00～16:10
講師：松本 一子氏 (名古屋柳城女子大学 准教授)

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

○ 目的

日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、必要とする経費の一部を補助することにより、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図る。

○ 概要

- ・ 交付先 市町村及び市町村国際交流協会等
- ・ 補助率 補助対象経費の2分の1以内

補助対象事業の種別**①子ども向け日本語教育事業**

- ・ 外国人の子どもに対して、日本における生活にスムーズに適応できることを目指し、必要な日本語を学ぶために初期の日本語教育を実施するもの。

※進学・就学を目的とした取組である「プレスクール」、「プレクラス」、「日本語初期指導教室」は補助対象外

②多文化子育てサロン事業

- ・ 外国人親子及び日本人親子が親子で楽しめる企画を実施するとともに、保護者に対し、乳幼児期における言語習得に大切なポイントなどを多言語で伝えながら、日本語能力の育成も図ることにより、日本で不安や孤独を感じることなく楽しく安心して子育てをすることをねらいとした集まりが、地域に拠点化する取組を実施するもの。
- ・ 事業の企画・実施にあたっては、県作成の「「多文化子育てサークル」実施マニュアル」「あいち多文化子育てブック～あいちで子育てする外国人のみなさまへ～」を参考にすること。

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

補助対象事業の種別

③初期日本語教育事業（子ども向け除く）

- ・ほとんど日本語がわからない段階の外国人県民に対して行う日本語教室を実施するもの。
- ・地域の日本語教室で受け入れる前段階として、日本語教育の専門家、県が主催する「初期日本語教育向け指導者養成講座」修了者、又はそれに相当する者の協力を得て、対話型の日本語教室を実施するもの。
- ・事業の企画・実施にあたっては、県作成の学習教材「地域における初期日本語教育モデル事業『はじめての日本語教室』」を活用して行うことが望ましい。
- ・初期日本語教室の修了者が、地域の日本語教室等において日本語学習を継続できるよう、地域の日本語教室との連携を図ること。

④地域の実態調査

- ・外国人等の現状、市区町村の体制や日本語教育の取組状況、地域コミュニティと外国人との関係、地域の日本語教育ニーズ、地域の日本語教育の課題等を調査するもの。

⑤地域日本語教育の推進計画策定又は改訂

- ・地域の日本語教育の実施に関する推進計画を策定する。推進計画には、各地域の外国人等の状況、学習ニーズ、リソース等を踏まえ「生活者としての外国人」に対する具体的な日本語教育の施策が含まれなければならない。

⑥その他

「文化庁 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業募集案内」の「4. 補助対象事業」に掲げる取組に該当すること。

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

[2021年計画（一部抜粋）]

■豊橋市

①子ども向け日本語教育事業

- ・回数 47回程度（1回1時間）
- ・受講者見込数 60名（15名×4か所）
- ・場所 岩田住宅、石巻校区市民館 等
- ・今後の生活へ早期対応できるよう、ひらがな・カタカナの読み書き、生活習慣の指導

②多文化子育てサロン事業

- ・回数 5回（1回2時間）
- ・受講者見込数 50名（10組×5か所）
- ・場所 公営住宅集会所、図書館 等
- ・リズム遊びや読み聞かせを通して言葉や文化を学ぶ

■半田市

③初期日本語教室

- ・回数 24回（1回3時間）
- ・受講者数見込 20名（20名×1か所）
- ・場所 半田市役所
- ・生活に必要な情報を盛り込んだ教室を実施。実践の場として地域事業などへの参加。

■春日井市

③初期日本語教育事業

- ・回数 60回
- ・受講者見込数 延べ1,440名
- ・場所 市民活動センター
- ・日本語でのコミュニケーション能力向上。基礎的な文字習得、会話能力向上

■豊田市

①外国名の幼児向け日本語教育事業

- ・回数 保見教室 45回、伊保教室 23回
- ・受講者見込 12名（6名×2か所）
- ・場所 UR集会所、伊保子ども園
- ・就学前の幼児向け教育、保護者に対して、母語・継承語を通じた子どもの言語習得について知る機会の提供

③日本語教育支援事業

- ・回数 25回程度（1回30分）
- ・場所 豊田市国際交流協会 等
- ・日常生活で必要とする日本語を学ぶことができる初期日本語教室の開催プログラム・コーディネーター及び日本語パートナー等による会話を通じた日本語学習

■安城市

②多文化子育てサロン事業

- ・回数 3回（1回3時間）
- ・受講者見込数 90名（30名×3回）
- ・場所 安祥閣
- ・防災、食育、ことば等をテーマとし、保護者同士の交流を通じた情報提供・情報共有

■西尾市

①子ども向け日本語教室

- (1)親子日本語教室（年度途中来日年長児）
 - ・回数 11回（1回1時間）
 - ・受講者見込数 40名
 - ・場所 多文化ルームKIBOU（オンライン）
 - ・文字、数量、季節に関わる日本語学習

(2)親子日本語教室（未就園児）

- ・回数 通年（1回2.5時間、週3日）
- ・受講者見込数 10名
- ・場所 多文化ルームKIBOU
- ・日本語習得、体操、散歩、工作等

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

■蒲郡市

③初期日本語クラス

- ・回数 8回(1回2.5時間)×2クール
- ・受講者数見込 40名(20名×2クール)
- ・場所 蒲郡市民会館、生きがいセンター
- ・愛知県初期日本語教育モデル事業の実施内容を基に継続実施

⑥その他(中級日本語クラス)

- ・回数 15回(1回2.5時間)
- ・受講者見込数 15名
- ・場所 蒲郡市民会館、生きがいセンター
- ・文字を書く練習、場面ごとに想定される会話学習

■常滑市

③常滑市初期日本語教育事業

- ・回数 66回(1回1.5時間)
- ・受講者数見込 35名
- ・場所 常滑市役所
- ・愛知県初期日本語教育教材活用。生活に必要な日本語の習得。

■大府市

⑥その他(日本語ボランティアスキルアップ講座)

- ・回数 3回(1回1.5時間)
- ・受講者見込数 20名(20名×1か所)
- ・場所 大府市役所会議室
- ・日本語ボランティア、日本語教室、指導の仕方等について

■知立市

②多文化子育てサロン事業

- ・回数 6回以上(1回5時間)
- ・受講者見込数 10組以上/回
- ・場所 知立市もやいこハウスなど
- ・親子で楽しめる企画の実施。保護者に対し乳幼児期の語学学習のポイント説明、日本語能力の育成。

■高浜市

②高浜市多文化子育てサロン事業

- ・回数 11回(月1回程度、1回2時間)
- ・受講者見込数 55組
- ・場所 市内公共施設等
- ・親子で楽しめる企画の実施(互いの国や家族を日本語で話す取組実施)

③高浜市初期日本語教育事業

- ・回数 33回(月3回程度、1回2時間)
- ・受講者見込数 延べ264名
- ・場所 市内公共施設等
- ・防災、防犯、ゴミ出し、買い物等

■豊明市

①子どもの日本語教育推進事業

- ・回数 15回
- ・受講者見込数 20名(5名×4か所)
- ・場所 市内保育園
- ・自分の名前を読もう/かこう/かず等

■弥富市

①弥富市子ども向け日本語教育事業

- ・回数 20回(月2回、1回1時間)
- ・受講者見込数 7名(1~3名×4か所)
- ・場所 市内保育園(4園)
- ・日本の文化やマナーなど基本的な生活習慣を学ぶ

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

■みよし市

①みよし市親子で参加する子ども向け日本語教育事業

- ・回数 10回 (1回2時間)
- ・受講者見込数 40名(親子20組)
- ・場所 おかよし交流センター
- ・主に生活、文字・ことば、数字について段階的に指導する。

■幸田町

①幸田町子ども向け地域日本教育推進事業

- ・回数 4回 (1回2時間)
- ・受講者数見込 10名 (10名×1か所)
- ・場所 幸田町中央公民館
- ・ひらがな、挨拶、色、数字などを学ぶ

■岡崎市国際交流協会

①岡崎市子ども向け日本語教室

- ・回数 5回 (1回2時間)
- ・受講者数見込 15~20名 (1か所)
- ・場所 岡崎市図書館交流プラザりぶら
- ・ひらがなの学習を始める、言葉遊びを楽しむ、分類する、身の周りの物の名前

②多文化子育てサークル

- ・回数 3回 (1回2時間)
- ・受講者数見込 15名 (15名×1か所)
- ・場所 岡崎市図書館交流プラザりぶら
- ・読み聞かせ、コミュニケーション等、子ども向け日本語教室説明会

⑥その他 (日本語ボランティア養成講座)

- ・回数 2回 (1回2時間)
- ・受講者数見込 40名 (20名×2回)
- ・場所 岡崎市図書館交流プラザりぶら
- ・「指導内容について」、「日本語ボランティアの基礎知識」等

■刈谷市国際交流協会

③刈谷初期日本語教室

「はなそう にほんご」

- ・実施回数 10回 (1回1.5時間) × 2講座
- ・受講者数見込 20名 (10名×2講座)
- ・実施場所 刈谷市国際プラザ
- ・愛知県初期日本語教育モデル事業を基に実施。愛知県教材活用。

■知立市国際交流協会

③初期日本語教育事業

- ・実施回数 約30回

- ・受講者数見込 10名
- ・実施場所 知立市中央公民館
- ・生活と関連する日本語の初歩的テーマや関心の高いテーマを設定した日本語教室

■北名古屋市国際交流協会

①子ども日本語教室

- ・回数 40回
- ・受講者見込数 20名 (2名×10か所)
- ・場所 市内各小中学校
- ・日本語学習支援及び生活に必要な日本語の支援のための教室実施

②多文化子育てサロン

- ・回数 12回×2ヶ所 (1回 1時間15分)
- ・受講者見込数 20名 (2名×10か所)
- ・場所 市内児童館
- ・はじめての日本語、多文化の防災、暮らし交流等のテーマでサロン実施

⑥社会人日本語教室

- ・回数 44回 (1回1時間30分)
- ・受講者見込数 延べ50名(50名×1か所)
- ・場所 北名古屋コミュニティセンター
- ・基礎的な日本語の習得や日本社会への適応能力を高めるための教室実施。

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

[補助額 (2022.1変更計画時点)] ・15市町、4国際交流協会

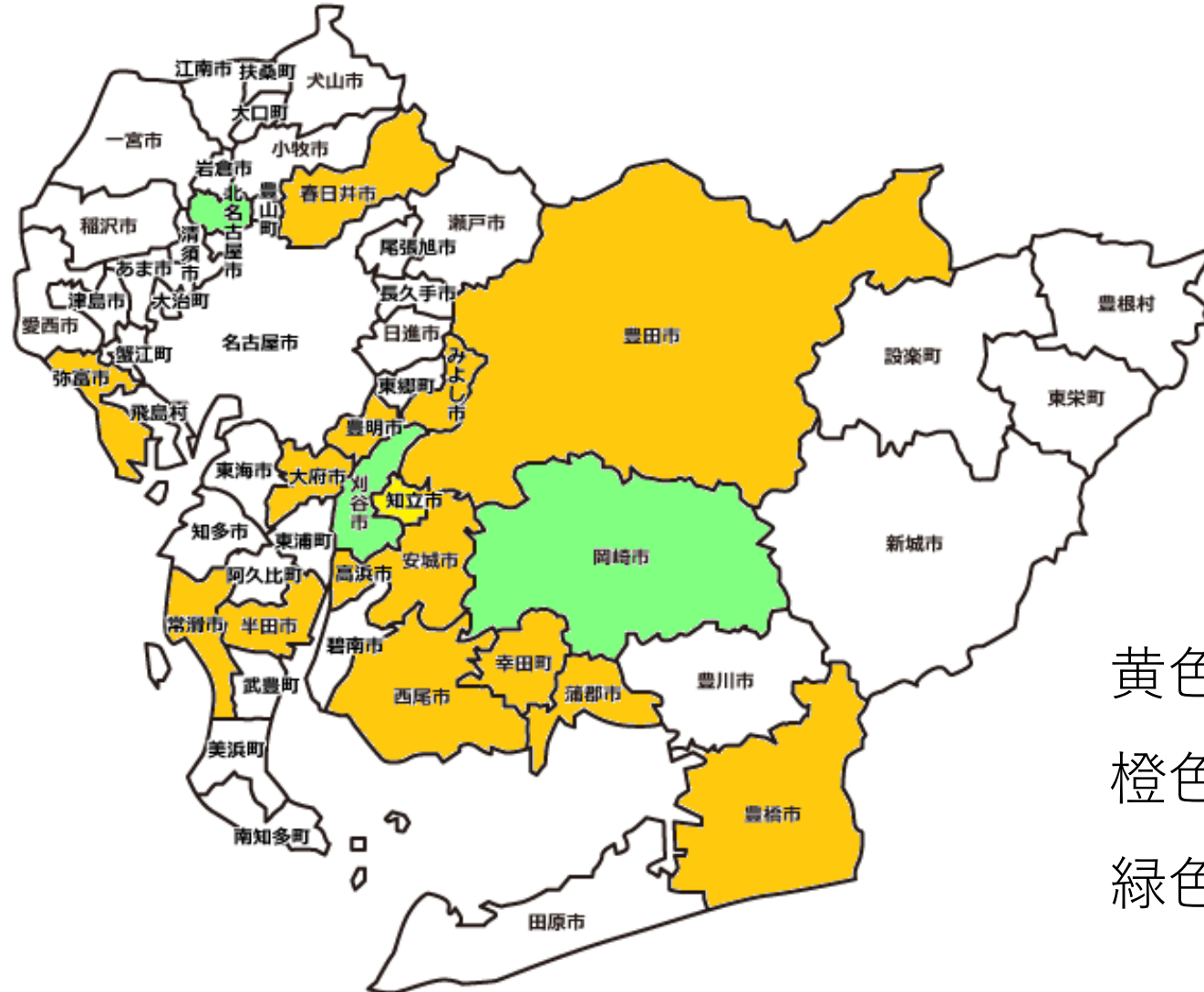
単位：千円

	市町村名	①	②	③	④	⑤	⑥
1	豊橋市	156	247				
2	半田市			545			
3	春日井市			445			
4	豊田市	936		4,732			
5	安城市		166				
6	西尾市	567					
7	蒲郡市			550			100
8	常滑市			263			
9	大府市						39
10	知立市		330				

	市町村名	①	②	③	④	⑤	⑥
11	高浜市		1,285				
12	豊明市	336					
13	弥富市	145					
14	みよし市	324					
15	幸田町	168					
16	岡崎市国際交流協会	273					1
17	刈谷市国際交流協会			113			
18	知立市国際交流協会			75			
19	北名古屋市 国際交流協会	782	575				1,251

※その他：蒲郡市（日本語教室）、大府市（日本語ボランティアスキルアップ講座）、北名古屋市国際交流協会（社会人日本語教室）

愛知県地域日本語教育推進補助金 実施市町村



黄色：市町村に交付

橙色：市及び市国際交流協会に交付

緑色：市国際交流協会に交付

⑧ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(2,300千円)

○ 目的

あいち地域日本語教育コーディネーターの派遣により、県内市町村や県内市町村国際交流協会などが日本語教室の設置・運営等について抱える課題に対し相談・助言を行うことで、地域の日本語教育の推進を図る。

○ 概要

- ・派遣先 : 依頼のあった地域の日本語教室、NPO法人、市町村、市町村国際交流協会等
- ・派遣回数 : 1団体あたり3回まで（1回あたり2時間程度）

○実施期間

- ・申込期間 : 2021年7月20日(火)～2021年12月24日(金)
- ・派遣期間 : 2021年8月1日(日)～2022年1月31日(月)

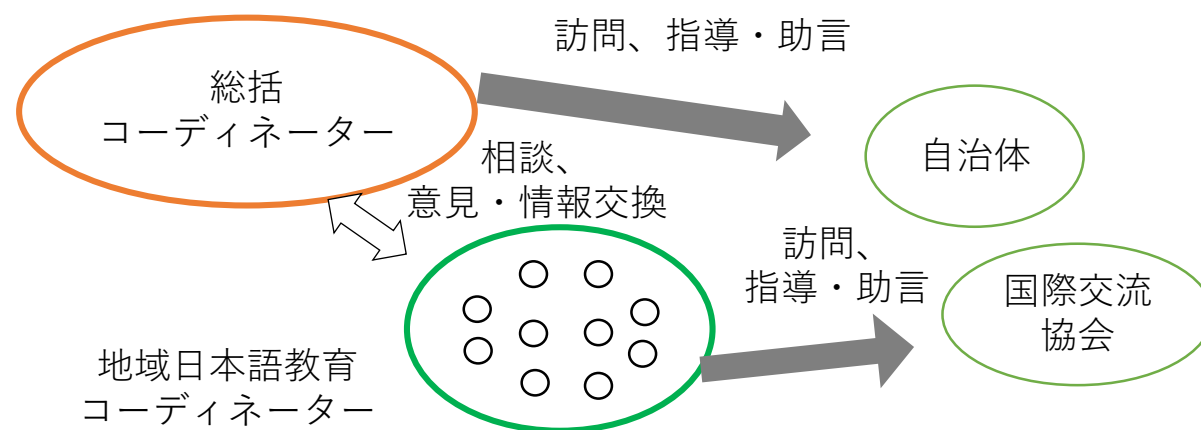
○あいち地域日本語教育コーディネーター意見交換会

- ・回数 : 年3回（オンライン）
- ・対象者 : 地域日本語教育コーディネーター 10名
- ・内容 : 派遣事業の実施状況、地域日本語教室の現状等

○あいち地域日本語教育推進事業担当者会議

- ・回数 : 年3回（オンライン）
- ・対象者 : 市町村及び市町村国際交流協会担当者
- ・内容 : 派遣事業事例紹介、グループワーク等

[派遣のイメージ図]



⑧ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(2,300千円)

○ 2021年度実施結果

・派遣先：10団体 ・派遣回数：16回 ・延べ派遣人数：28名

	派遣先	派遣回数	延べ派遣人数	主な相談内容
1	岩倉市	3回	5名	・初期日本語教室の立ち上げについて（県初期日本語教育モデル事業の継続）
2	春日井市	1回	2名	・教室の運営体制、ボランティアとの連携について
3	尾張旭市	1回	2名	・新規教室の立ち上げ、日本語教育事業の進め方について
4	常滑市	2回	4名	・対話型教室の方針決定、運営体制の構築について
5	大府市・大府市国際交流協会	2回	3名	・教室の位置づけ、市と協会の連携について
6	半田市	1回	2名	・教室の実施方法、今後の方向性について
7	北名古屋市国際交流協会	2回	3名	・ボランティアによる教室実施の課題について
8	蒲郡市	2回	3名	・初期教室の実施体制、多文化共生事業の中での教室の位置づけについて
9	新城市	1回	2名	・教室の実施方法、多文化子育てサロンの実施方法について
10	日進市・日進市国際交流協会	1回	2名	・教室の実施方法について

⑨ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催

(249千円)

○ 目的

地域における日本語教育に関わる様々な機関・団体・個人が、各々の役割を果たしながら連携・協働するため、地域における日本語教育に関する取組や課題などについて情報共有や意見交換を行う。

○ 会議概要

地域の日本語教育に関して、3つのテーマを設定する。

(1) 「自治体が行う日本語教育」 (2) 「子育て世代の外国人に対する支援」 (3) 「企業との連携」

○ 開催概要

(1) 「自治体が行う日本語教育」

日時：2021年12月15日（水） 10:00～12:00

場所：愛知県三の丸庁舎 地下1階 B105会議室

主な議題：自治体等からの取組報告、意見交換

構成員：学識者、日本語教師養成機関、地域日本語教育コーディネーター、市町村（半田市、刈谷市、常滑市、稲沢市）、愛知県国際交流協会、愛知県多文化共生推進室

(2) 「子育て世代の外国人に対する支援」

日時：2021年12月3日（金） 13:00～15:00

場所：あいち国際プラザ 2階 アイリスルーム

主な議題：自治体等からの取組報告、意見交換

構成員：学識者、地域日本語教育コーディネーター、市町村・市町村国際交流協会（豊田市、江南市教育委員会・江南市国際交流協会、知立市）、愛知県国際交流協会、愛知県多文化共生推進室

(3) 「企業との連携」

2～3月開催予定

⑩ 地域日本語教育研修会

(32千円)

○ 目的

日本語教室関係者、外国人支援団体、市町村国際交流協会職員、市町村職員等が、地域における日本語教育の現状や課題について考え、課題の解決に向けた意見交換等を行うことにより、現場での取組を支援する。

○ 概要

- ・場 所：オンライン
- ・対象者：日本語教室関係者、外国人支援団体、市町村国際交流協会職員、市町村職員

	開催日	テーマ	講師・ゲスト等	参加人数
1	2021年5月22日	日本語教室の課題解決をどうしていますか —あいち地域日本語教育コーディネーター派遣の成果と課題—	愛知県多文化共生推進室 千葉 月香	21名
2	2021年7月24日	日本語教室におけるオンラインの活用と課題 —自治体・協会職員という立場から考える—	各務原市 梅田 宅真氏	27名
3	2021年9月25日	教室は対面だけ？オンラインは？両立は？ —これからの教室活動のあり方を考えてみる—	なし	20名
4	2021年11月27日	外国人就労者のための日本語 —職場のコミュニケーション—	株式会社link design lab 代表取締役 長尾晴香氏	21名
5	2022年1月22日	これからの地域日本語教室での活動を考える	東海日本語ネットワーク 鈴木 勝代氏 NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦氏	16名

⑪ 各種調査等

(194千円)

県内での日本語教育の取組の実態を把握するため、以下の調査を行う。

① 外国人学校調査の実施

	学校名	所在地
1	伯人学校イーエーエス豊橋	豊橋市
2	伯人学校イーエーエス豊田	豊田市
3	伯人学校イーエーエス碧南	碧南市
4	学校法人カンティニーニョ学園	豊橋市
5	エスコーラ・ネクター	豊田市
6	エスコーラ・パウロ・フレイレ瀬戸	瀬戸市
7	エスコーラ・ピンタンド・オ・セテ	豊田市
8	一般社団法人サンパウロ国際スクール	安城市
9	コレジオ・エマヌエウ	半田市

	学校名	所在地
10	カンティニーニョ・ダ・チア・シェシェラ	岡崎市
11	エスコーラ・エジャ・インタラチーヴォ 豊橋（通信制）	豊橋市
12	コレジオ・ブラジル・ジャパン（通信制）	名古屋市
13	名古屋韓国学校	名古屋市
14	愛知インターナショナルスクール	名古屋市
15	学校法人名古屋国際学園	名古屋市
16	E L C C国際子ども学校	名古屋市
17	愛知朝鮮中高級学校	豊明市
18	学校法人江西国際学園	名古屋市

② 在名古屋ブラジル総領事館主催教育フェアへの出展（1回） **開催未定** ○ プレスクールの普及（91千円）

⑫ 多文化共生日本語スピーチコンテスト

(673千円)

○ 目的

外国人児童生徒を始めとする外国人県民が、自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の高揚を図るとともに、多文化共生に対する理解の促進を図る。(2015年度から実施)

○ 概要

- ・ 応募資格 愛知県内の学校等に在学する者又は愛知県内に在住する者のうち、次の(1)及び(2)を満たす者。
(1)母語が日本語以外の者 (2)小学校以上の学校等に在籍する者又は学校に通っていない者。
- ・ 部門 「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生以上一般の部」
- ・ 審査 一次審査：スピーチ原稿により審査、コンテスト本選：本選出場者によるスピーチ

○ 2021年度実施結果

- ・ 応募者：146名（小学生75名、中学生30名、高校生以上一般41名）
- ・ 一次審査：スピーチ原稿により審査し、20名を選考
- ・ コンテスト本選

開催日：2021年8月21日(土)

概要：本選出場者によるスピーチ

「最優秀賞」各1名、「優秀賞」各1名、「特別賞」全体で3名、

「奨励賞」10名

講演会、表彰式



[コンテストの様子]

⑬ 日本語指導員育成事業

(1,245千円)

地域の日本語教室で活動するボランティアを増やすため、日本語ボランティア未経験者や初心者を対象に、外国人住民や外国人児童生徒の現状や課題、日本語ボランティアとはどのような活動なのか、またその支援内容や教え方などを学ぶ入門講座を市町村等との共催で実施。

	半田市	津島市
日にち	①12月5日(日) ②12月12日(日) ③12月19日(日)	①10月9日(土) ②10月16日(土) ③10月30日(土)
時間	①②13:00～16:00 ③10:00～16:00	①②13:00～16:00 ③10:00～16:00
場所	半田市立さくら小学校	津島市文化会館
参加者	①22名 ②21名 ③20名	①21名 ②19名 ③13名



[講座 (半田市) の様子]

⑭ 外国人児童生徒指導関係者スキルアップ研修事業

(260千円)

現在、地域の子ども向け日本語教室で活動している方々や学校関係者を対象に、日々の活動における疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に付けるためのスキルアップ研修を市町村等との共催で実施。

	東海市	長久手市
日にち	9月11日(土)	10月1日(金)
時間	10:00～12:00	13:00～16:00
場所	オンライン (Zoom)	長久手市福祉の家 → オンラインに変更
講師	NPO法人青少年自立援助センター YSCグローバルスクール 密山和香子氏	認定NPO法人プラス・エデュケート 森 顕子氏
参加者	35名	19名

参考. 2021年度の取組一覧

※2021年度当初予算

総事業費 33,050千円

新規

① 愛知県地域日本語教育の
推進に関する基本的な方針策定
(2,422千円) 検討会議年5回

② 総括コーディネーター配置
(4,902千円) 1名

④ あいち外国人の日本語
教育推進会議
(222千円) 年2回

I リソース開発 ・モデル事業

II 取組の普及

III 財政支援

IV-1 課題解決・ 人材育成支援

(公財)愛知県国際交流協会

IV-2 人材育成支援

⑤ 地域における初期
日本語教育モデル

⑤ 地域における初期
日本語教育モデル

⑦ 地域日本語教育
推進補助金

⑧ あいち地域日本語教育
コーディネーター派遣

⑬ 日本語指導員育成

(1,509千円のうち一部)
・初期日本語教育教材開発

(1,509千円のうち一部)
開催市：岩倉市
初期日本語教室：
24時間×2期、計48時間
第1期15名、第2期27名
指導者養成講座：
計30時間、21名修了

(16,379千円)
交付団体：19団体
○子ども向け
7市町村、2協会

(2,019千円) 10名に委嘱
派遣先：10団体
コーディネーター意見交換会
・市町村担当者相談会：
各3回開催

(1,245千円)
県内2か所
各か所計11時間

VI その他

⑪ 各種調査等

指導者養成フォローアップ研修：
4回開催、延べ35名参加

○サロン
4市町、2協会
○初期日本語教育
6市町、3協会
○その他
2市、1協会

V 連携・協働

(194千円)
○外国人学校の調査等

⑥ 多文化子育て
サロン設置促進

⑨ ネットワーク会議

⑭ 支援者スキルアップ研修

(673千円)
応募者：146名

(2,944千円)
開催市：豊田市 全8回、85組
半田市 全7回、65組
大府市 全7回、67組

(249千円)
開催回数：年3回開催

(260千円)
開催回数：2回
県内1か所、オンライン

⑩ 地域日本語教育研修会
(32千円)
開催回数：5回

2. 2022年度実施計画

0 実施体制

- ① あいち地域日本語教育推進センターの運営 . . . P27
- ② 総括コーディネーターの配置 . . . P27
- ③ あいち地域日本語教育コーディネーターの配置 . . . P28
- ④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催 . . . P28

I リソース開発・モデル事業

- ⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業 . . . P29

II 取組の普及

- ⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業 . . . P29
- ⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業 . . . P30

III 財政支援

- ⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金 . . . P31

IV-1 課題解決・人材育成支援

- ⑧ あいち地域日本語教育コーディネーター活動等事業 . . . P34
 - ・あいち地域日本語教育派遣事業
 - ・地域日本語教育ハンドブック作成事業
 - ・あいち地域日本語教育コーディネーター意見交換会

IV 連携・協働

- ⑨ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催 . . . P35
- ⑩ 市町村向け地域日本語教育研修会 . . . P35

V その他

- ⑪ 各種調査等 . . . P36
- ⑫ 多文化共生日本語スピーチコンテスト . . . P36

IV-2 課題解決・人材育成支援

- ⑬ 日本語指導員育成事業 . . . P37

① あいち地域日本語教育推進センターの運営

- 目的 地域日本語教育関係者との連携を図り、愛知県内の地域日本語教育の支援等を行うことにより、地域日本語教育の体制づくりを行うこと。（愛知県多文化共生推進室内に設置）
- 構成 6名（センター長：愛知県多文化共生推進室長、副センター長：同室室長補佐2名、
総括コーディネーター：1名 事務担当者：2名）
- 主な業務 地域日本語教育に関する支援、関係者の連携に関する相談・支援、人材育成に関する支援等

② 総括コーディネーターの配置

(4,998千円)

- 概要 地域日本語教育の専門的な知識に基づき、県やあいち地域日本語教育コーディネーターに対する指導・助言、関係者の調整、広報活動等を行う。
- 配置人数 1名
- 任用 2022年4月1日付で任用。任用期間は、2023年3月31日まで。
公募手続を経て、地方公務員法第22条の3に規定される「臨時的任用職員」として、県が直接任用。
- 主な業務
あいち地域日本語教育推進センターが実施する事業の企画・立案、関係者との調整、事業遂行に伴う課題整理、現状分析等。市町村担当者や、日本語教育関係者からの相談・問合せ等に対して助言。
 - ・ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業に係る業務
 - ・ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催に係る業務
 - ・ 地域における初期日本語教育モデル事業に係る業務
 - ・ 地域日本語教育研修会の開催に係る業務

③ あいち地域日本語教育コーディネーターの配置

○ 概要

- ・ 総括コーディネーターとともに、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、県内の地域日本語教育関係者への情報提供・助言を行う。
- ・ 学識者、NPO法人代表、国際交流協会職員等、高い専門性や長年の活動実績を持つものの中から、県から委嘱。
- ・ 委嘱人数 約10名

④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催

(443千円)

- 設置目的 あいち地域日本語教育推進センターの運営方針及び事業内容の検討等
- 開催回数 あいち外国人の日本語教育推進会議の開催 年1回
事前協議部会 年3回
- 協議事項 (1)あいち地域日本語教育推進センターが行う事業に関すること。
(2)その他、地域日本語教育の体制づくりに必要な事項に関すること。
- 構成員 17名 (学識者、民間日本語教育機関、中間支援団体、日本語教室、企業関係、学校関係、市町村、市町村国際交流協会等)

⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

(2,740千円)

○ 目的

専門機関の協力を得て、地域の日本語教室等と連携し、日本語がまったく分からないか、ほとんど分からない外国人県民を対象とした初期日本語教室をモデル的に開催するとともに、初期日本語教育の指導者を養成する。

(2018年度から実施)

○ 実施体制

- ・運営委員会 日本語教育の有識者等で構成。事業内容、実施方法等の検討、実施状況の確認・改善、事業評価等を実施
- ・コーディネーター 事業全体のコーディネートを行うため配置（1名）

○ 概要

(1) 地域における初期日本語教室のモデル開催

- ・開催市：尾張旭市
- ・時間数：計24時間（3時間×8回×1クール）
- ・受講者数：20名程度

(2-2) 指導者養成フォローアップ講座の実施

- ・開催市：一宮市、刈谷市、蒲郡市、岩倉市
- ・時間数：2時間×各地域2回
- ・対象：2018年度～2021年度指導者養成講座受講者
- ・受講者数：80名程度

(2-1) 指導者養成講座の実施

- ・開催市：尾張旭市
- ・時間数：計30時間
- ・定員：20名程度

(3) 人材養成カリキュラムの検討委員会の開催

- ・委員：有識者6名
- ・開催回数：4回

II 取組の普及

⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業

(2,844千円)

○ 目的

外国人親子と日本人親子が交流を楽しむ活動を通じて、子育て世代の外国人保護者に対して、乳幼児期の言語習得に大切なポイントや日本における育児に関する情報を提供し、日本語能力の育成と子育ての不安解消を図る「多文化子育てサロン」の市町村における設置及び普及を推進する。(2018年度から実施)

○ 概要

(1) 「多文化子育てサロン」の実施

- ・対象者 : 外国人親子及び日本人親子10組以上
- ・実施場所 : 県内3か所(未定)
- ・実施回数 : 各計6回以上

(2) 普及啓発事業(説明会の開催)

- ・対象者 : 市町村職員、市町村国際交流協会職員、保育士、保健師など50名程度
- ・実施場所 : 県内2か所
- ・内容 : サロンの必要性や実施方法について、有識者からの説明、事例紹介 等

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(21,151千円)

○ 目的

日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、必要とする経費の一部を補助することにより、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図る。

○ 概要

- ・ 交付先 市町村及び市町村国際交流協会等 ・ 補助率 補助対象経費の2分の1以内
- ・ 補助事業 ①子ども向け日本語教育事業 ②多文化子育てサロン事業 ③初期日本語教育事業（子ども向け除く）
④地域の実態調査 ⑤地域日本語教育の推進計画策定又は改訂 ⑥その他

・ 実施計画申請状況 27団体

① 子ども向け日本語教育事業	6市2町4国際交流協会	9,725千円
②多文化子育てサロン事業	5市3国際交流協会	5,330千円
③初期日本語教育事業	8市2国際交流協会	21,946千円
④地域の実態調査	3市	1,647千円
⑤地域日本語教育の総合的な推進計画策定又は改訂		0千円
⑥その他	2市2国際交流協会	3,654千円

補助対象経費 42,302千円 × 補助率1/2 = 国庫補助額21,151千円

III 財政支援

⑦ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(21,151千円)

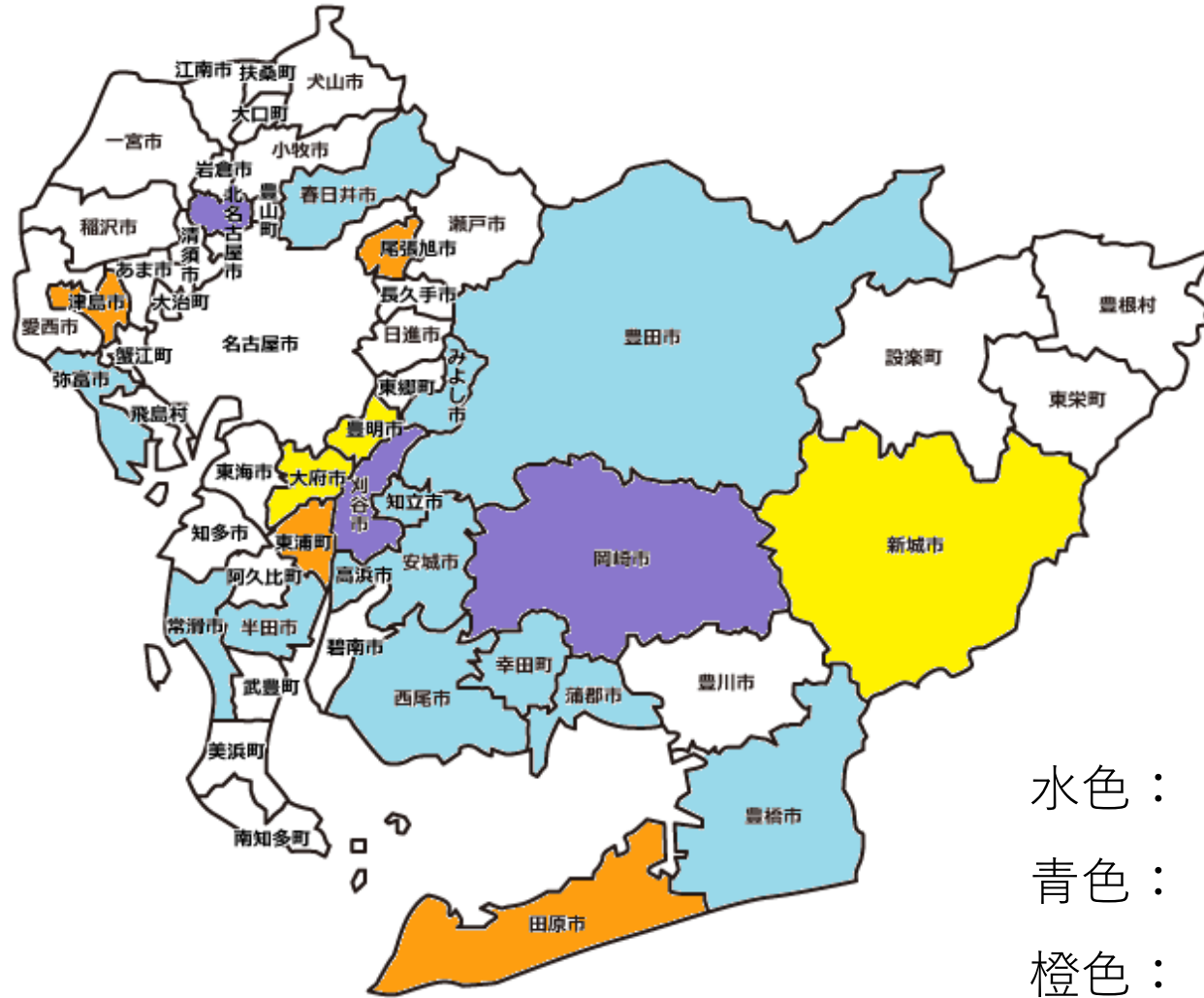
[補助額 (2021.10 希望調査時点)] ・ 19市町、8 国際交流協会

単位：千円

	市町村名	①	②	③	④	⑤	⑥
1	豊橋市	312	495		1,000		
2	半田市			715			
3	春日井市			990			
4	豊田市	2,060	964	10,196			
5	安城市		600				
6	西尾市	1,134					
7	蒲郡市			1,100			200
8	常滑市			604			
9	大府市						100
10	新城市				147		
11	尾張旭市			180			
12	知立市		1,000				
13	高浜市		215	3,985			
14	豊明市	841					

	市町村名	①	②	③	④	⑤	⑥
15	田原市			3,607	500		
16	弥富市	290					
17	みよし市	789					
18	東浦町	329					
19	幸田町	750					
20	岡崎市 国際交流協会	1,000					
21	刈谷市 国際交流協会			269			
22	津島市 国際交流協会	375					70
23	新城市 国際交流協会		274				
24	大府市 国際交流協会		1,000				
25	知立市 国際交流協会			300			
26	豊明市 国際交流協会	200					
27	北名古屋市 国際交流協会	1,645	821				3,284

※その他：蒲郡市（日本語教室）、大府市（日本語ボランティアスキルアップ講座）、津島市国際交流協会（日本語教室）、北名古屋市国際交流協会（社会人日本語教室）



- 水色：【継続】市町村に交付
- 青色：【継続】市国際交流協会に交付
- 橙色：【新規】市町村に交付
- 黄色：【新規】市町村及び国際交流協会に交付

⑧ あいち地域日本語教育コーディネーター活動等事業

(5,365千円)

ア あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業 **拡充**

○ 概要

- ・派遣先 : 県内市町村・市町村国際交流協会等
- ・派遣回数 : 県内10団体 1団体あたり最大3回(1回あたり3時間程度)、各回2人派遣

イ 地域日本語教室ハンドブック作成事業 **新規**

○ 概要

- ・対象 : 市町村、市町村国際交流協会、NPO等
- ・作成検討会議 : 年4回
- ・実態調査 : 対象 市町村、市町村国際交流協会、NPO等
内容 ヒアリング調査(10か所以上)、アンケート調査(400件以上)
- ・ハンドブック作成1,000部、紹介動画作成

ウ あいち地域日本語教育コーディネーター意見交換会

○ 概要

- ・開催回数 : 年3回
- ・構成員 : あいち地域日本語教育コーディネーター等

IV 連携・協働

⑨ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催

(245千円)

○ 目的

地域における日本語教育に関わる様々な機関・団体・個人が、各々の役割を果たしながら連携・協働するため、地域における日本語教育に関する取組や課題などについて情報共有や意見交換を行う。

○ 概要

- ・回数：年3回
- ・開催場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区で各1回
- ・内容：当該年度の日本語教育事業の報告、地域日本語教育関係者からの報告・提案、意見交換

⑩ 市町村向け地域日本語教育研修会の開催

(32千円)

○ 目的

市町村職員向けに、基本方針の普及や地域日本語教育の体制整備を推進するための研修会を開催する。

○ 概要

- ・回数：年2回
- ・内容：県の基本方針の説明、先進的な取組事例紹介やグループワーク等

V その他

⑪ 各種調査等

(145千円)

- (1)外国人学校調査の実施
 - (2)在名古屋ブラジル総領事館主催教育フェアへの出展（1回）
- プレスクルの普及（45千円）

⑫ 多文化共生日本語スピーチコンテスト

(652千円)

○ 目的

外国人児童生徒を始めとする外国人県民が、自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の向上を図るとともに、多文化共生に対する理解の促進を図る。（2015年度から実施）

○ 概要

- ・ 応募資格 愛知県内の学校等に在学する者又は愛知県内に在住する者のうち、次の(1)及び(2)を満たす者。
(1)母語が日本語以外の者 (2)小学校以上の学校等に在籍する者又は学校に通っていない者。
- ・ 部門 「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生以上一般の部」
- ・ 審査 一次審査：スピーチ原稿により審査、コンテスト本選：本選出場者によるスピーチ

⑬ 日本語指導員育成事業**(1,398千円)****a. 外国人児童生徒のための日本語教室活動入門講座**

子ども向けに学習支援等を行う地域の日本語教室で活動するボランティアを増やすため、未経験者や初心者を対象に、外国人児童生徒の現状や地域日本語教室の活動を理解するための入門講座を市町村等との共催で実施。

○ 概要

- ・実施回数：7月～3月に3回
- ・実施場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区のうち計2か所
- ・内 容：(予定)

第1回 外国人児童生徒の状況について、地域の子ども向け日本語教室の活動について

第2～3回 外国人児童生徒への日本語指導方法、教材の選び方、カリキュラム作成等のワークショップ

b. 外国人児童生徒のための日本語教室活動等スキルアップ研修

原則として上記入門講座の修了生を対象に、学習指導方法やカリキュラム作成、日本語能力の評価方法をはじめ、活動に役立つ知識やスキルを身に着けるためのスキルアップ研修を市町村等との共催で実施。

○ 概要

- ・実施回数：年2回
- ・実施場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区のうち1か所、およびオンライン(各1回)
- ・内 容：日本語教授法、教材の選び方・活用方法、カリキュラム作成、学習障害を抱える学習者への指導、学校とNPOとの連携、教室運営ほか

総事業費 39,922千円

I リソース開発
・モデル事業

⑤ 地域における初期
日本語教育モデル

(2,740千円のうち一部)
・人材育成カリキュラムの
検討

V その他

⑪ 各種調査等

(145千円)
○外国人学校の調査

⑫ スピーチコンテスト
(652千円)
等

II 取組の普及

⑤ 地域における初期
日本語教育モデル

(2,740千円のうち一部)
開催市：尾張旭市
初期日本語教室：
3時間×8回、計24時間
指導者養成講座：計30時間
指導者養成フォローアップ研修：
2時間×2回×4地域

⑥ 多文化子育て
サロン普及促進

(2,844千円)
開催市：未定（県内3地域）
各地計6回以上

III 財政支援

⑦ 地域日本語教育
推進補助金

(21,151千円)
申請予定団体：27団体
○子ども向け日本語教育
8市町村、4協会
○多文化子育てサロン
5市町、3協会
○初期日本語教育
8市町、2協会
○実態調査
3市町
○その他 ※日本語ボラン
ティアスキルア
ップ研修等
2市、1協会

② 総括コーディネーター配置

(4,998千円) 1名

IV-1 課題解決・
人材育成支援

⑧ あいち地域日本語教育
コーディネーター活動

(5,088千円)
10名に委嘱 **拡充**
○コーディネーター派遣：
派遣先：10団体程度
○地域日本語教育 **新規**
ハンドブック作成
○コーディネーター
意見交換会：
3回開催

④ あいち外国人の日本語
教育推進会議

(443千円) 年4回

IV 連携・協働

⑨ ネットワーク会議
(245千円)

開催回数：年3回開催

⑩ 市町村向け
地域日本語教育研修会

(32千円)開催回数：2回

(公財)愛知県国際交流協会

IV-2 人材育成支援

⑬ 日本語指導員育成事業

(1,584千円)
・日本語教室活動入門講座
・日本語教室活動等スキル
アップ研修